

MS(むこがわサイエンス) 通信

第9号

Mukogawa Science

武庫川女子大学附属中学校・高等学校
令和2年(2020年) 1月11日発行

3期目のSSH校としての研究開発課題を「未来世代への提言を目指し、女性の科学技術人材を育成するプログラムの開発」として、創造サイエンスコースのみならず、創造グローバルコースも対象に取組を推進していきます。基本的なコンセプトは、研究のみに終始するのではなく、その取組が人のために役立つ取組として、国内外に発信できることを目指します。

- プログラム1 「知」の高度化による科学的素養の育成
- プログラム2 教科横断型カリキュラムの開発
- プログラム3 グローバル科学技術人材の育成



《 数学・理科甲子園 2019 》 12月21日(土)

兵庫県下の高等学校61校が参加して、10時から甲南大学で行われました。午前中は予選、午後から本選・チャレンジマッチ・決勝でした。本校から高校1年生6名が参加しました。61校中17位と健闘しましたが、本選の16校に入ることはできませんでした。来年度に期待します。



《 SSH成果発表会1 》 12月22日(日) 10:00 開催

武庫川女子大学で、本校のSSH活動の成果発表会を行いました。
全体発表 公江記念講堂
(司会は、午前の部が、高校3年生の木村文美さん、坪塚桃奈さん、午後の部が、高校2年生の北紗由紀さん、亀尾七海さん)
ポスター発表 文学2号館3・5F

《 第2回SSH運営指導委員会 》 SSH成果発表後に開催

《 SSH成果発表会2 》 午前の部① 生徒発表

今回からステージでの報告発表はなくなり、全学年すべて研究発表となりました。午前の研究発表は、中学1年生の「ワタの栽培と加工」、中学2年生の「ライトレーサー」、中学3年生の「プラナリアの餌による成長の違い」、中学3年生と高校1年生の「Javaプログラミング&iPadで動かすロボット」の4グループが発表しました。それらすべての発表について、充実した質疑応答が行われました。



《 SSH成果発表会3 》 卒業生の講話・パネルディスカッション

毎年恒例の卒業生によるリレー講演、そして、昨年度から始まった卒業生と在校生によるパネルディスカッションは、まさにあつという間の1時間でした。平成25年3月卒の片岡望称子さん、平成27年3月卒の荒井萌さんのお二人から、中高時代や大学時代の貴重なお話しを聴かせていただき、パネルディスカッションでは、「自分がどういふ人になりたいか?」や「あきらめないこと」、「大切なこと」など、等身大のディスカッションになりました。



《 SSH成果発表会4 》 ポスターセッション 12:30~14:00

中学1年生から高校3年生まで、65のポスター発表が、本学中央キャンパスの文学II号館、3階と5階の会場で行われました。中学1年生の7グループが「植物の栽培と加工」、中学2年生の10グループが「プログラミング」をテーマにこれまで進めてきた探究活動の成果を発表しました。中学3年生では、中学1年と2年の探究活動の経験を活かし、9グループが思い思いのテーマに挑戦し、その成果を発表しました。高校生は、それぞれの学年生徒のグループでの発表、複数の学年で構成されているグループ、大学との連携で行っている探究活動、そして、今回初めてCG(創造グローバル)コースがMSタイムで行った探究活動の発表も加わりました。



《 SSH成果発表会5 》 午後の部 生徒発表・講評

午後の研究発表は、中学3年生と高校1年生の「Arduinoで制御する人型ロボットを作る」、高校1・2年生の「玄米を食べて健康美人になろう!」、高校3年生の「液化化現象」、そして、最後は高校3年生の英語による「VitaminC and VitaminC Compounds」の4グループで、これらの各発表に対してもすべて内容のある質疑応答ができました。特に、最後の英語での発表に対しては、会場から次々と英語での質問が続きました。

最後に、神戸大学 学長 武田 廣先生より講評と励ましの言葉をいただきました。

